

## 「担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 今野大輔さん（奥州市）」

執筆者 奥州農業改良普及センター 村上大樹

奥州市江刺で、令和2年度に新規就農した今野大輔さんを紹介します。

今野さんは、令和元年度に地元のトマト生産者の下で勉強しながら、栽培管理の技術を学び、令和2年度からハウストマト18aで経営を開始しました。

令和2年度は、就農1年目ということもあり、師匠（近隣のベテラン生産者）等の細やかな指導を受けつつ、生育状況に応じた適切な栽培管理に取り組みました。その結果、反収10.9tと目標を上回る実績となり、早期経営確立に向け、順調なスタートを切ることができました。

また、今野さんは、令和2年度に「新規就農スタートアップ支援事業（農業機械・施設の導入）」を活用し、中古ハウス1棟を移設し、規模拡大にも取り組んでおり、令和3年度はハウストマト約22aで経営を行っていく予定です。

今野さんは、更なる規模拡大や新品目導入についても検討を進めており、ますますの経営発展が期待されます。



令和2年度事業で移設したハウス



師匠等に管理指導を受ける今野さん(写真中央)